

# 栄養やまぐち



## 「コロナ禍の居宅療養管理指導」

組織・広報事業部長 松村 史樹

日本でPCR検査による新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）陽性者が初めて確認されたのが令和2年1月24日のことである。その時の1名の感染確認から現在にいたるまでに爆発的な感染拡大を招き、令和2年11月時点では第3波（11月前半から）の到来により1日で2500人にも上る陽性者が確認される状況となっている。

感染拡大を抑制するために子供たちは新学期の開始からしばらく休校を余儀なくされ、飲食業界や観光業界においては利用者個人の判断だけでなく行政判断としても経済停滞を余儀なくされる状況となっている。

医療業界においても感染拡大第1波（3月後半から5月前半にかけて）は受診控えの影響から診療報酬の請求金額は例年の半分以下となっており、6月以降は例年の請求水準に戻っているとはいえ少なからず医療経営者への影響はあったものと考えられる。

在宅訪問型の栄養改善サービスである居宅療養管理指導においても、濃厚接触回避の視点から、令和2年3月から6月にかけての介護給付実績は右肩下がりに減少し、訪問控えが起こっていることが分かる。感染拡大第2波（6月後半から9月前半）においては、上昇し且つ伸び率が高くなっているように見え、8月以降は不明であるが、9月以降も上昇傾向を示すのではないかと推測される。

### ○令和2年 居宅療養管理指導（管理栄養士）の給付実績

（単位：千単位）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
管理栄養士（Ⅰ）	1,564	1,575	1,550	1,540	1,351	1,420	1,597	1,777
管理栄養士（Ⅱ）	1,057	1,076	1,084	1,050	934	1,001	1,117	1,183
管理栄養士（Ⅲ）	900	964	877	856	830	839	935	896

訪問件数の減少要因は、主治医からの接触禁止及び居宅扱いの高齢者施設（有料老人ホームなど）への立ち入り禁止等があり、要介護・要支援者は、特に体力の低下や疾病の悪化などがあり易感染状態にあるため、当然の対策であると言える。しかし訪問中止の結果、感染は防ぐことはできたが、その反面、要介護・要支援者の食生活への介入を中止したことにより障害や疾病、栄養状態の悪化を招いた可能性が考えられる。

要支援認定者や自立者であっても自粛生活の影響からフレイル化が進行し、そこには食の問題を抱える方もいるはずである。食は健康に生きるための手段であると同時に「美味しさ」や「食欲」も必要であり、それは生きる価値にも通じるものであり、食をサポートすることはその方の生きる価値をサポートすることである。そこで管理栄養士・栄養士の責務は重大であり、必要不可欠なものであると考える。

現状がいつまで続くかは不明であるが、居宅療養管理指導がコロナ禍の中でも要介護者・要支援者の体調が維持できるようにインターネット環境を整えた対応など、安全を最優先にしながら関わり続けることが急務と考える。

### CONTENTS

- ② オンライン研修会の申し込み方法
- ③ 活動報告

- ④ ちょっと一息/あるある漫画×クロスワード
- ⑤ 栄養士のお仕事

- ⑥ 編集後記

# 「オンライン研修会の申し込み方法」

令和2年度より、山口県栄養士会が主催する一部の研修会がオンラインで受講できるようになりました。会場に集まっての研修会では、講師や他参加者とコミュニケーションをとりながら受講できるメリットがありますが、オンライン研修では、他者との接触を避けることができ、研修会場に行く時間や交通費を節約できるメリットがあります。感染症などの状況に合わせて受講方法を検討してみたいはいかがでしょうか？

オンライン研修会に参加するための申し込み方法について解説します。

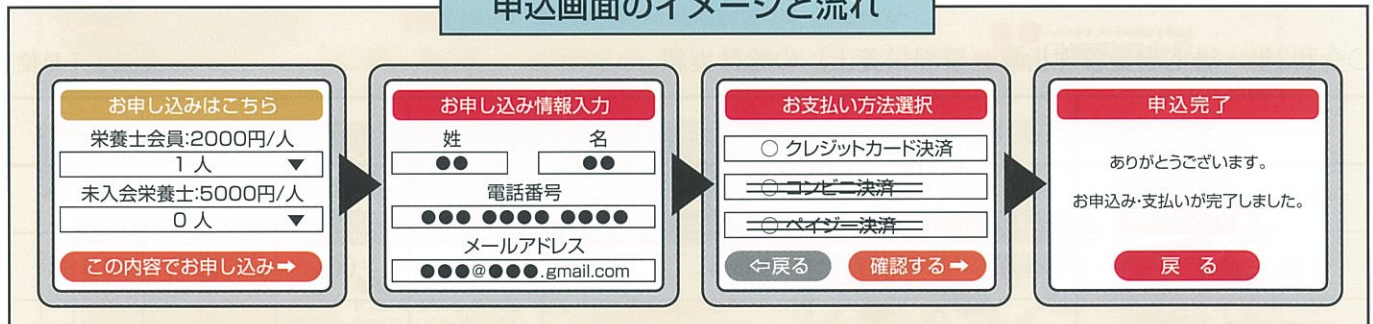
- ①山口県栄養士会ホームページのトップページ「新着情報」から希望する研修の「LIVE配信申し込みフォーム」を選択し、受講申し込み画面を開く。[\(http://www.yama-ei.com/\)](http://www.yama-ei.com/)

<p>R〇/〇〇/〇〇 △△△△研修会          開催案内 <a href="#">詳細参照</a>          ①会場での聴講申し込み：従来の申込用紙による          ②LIVE配信視聴の申し込み          講義1 10:30~12:00 □□□□の実践</p> <p style="text-align: center; border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"><b>LIVE配信申し込みフォーム</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>イベント</b></p> <p>イベント詳細          △△△△研修会          □□□□の実践 講義1単位          講師：××××トレーナー ○〇先生</p>
--	---

- ②受講申し込み画面に従い、申し込み情報および決済方法を入力。

- ・申し込み情報……………会員番号（現在、会員外は受け付けていません）  
 氏名、電話番号、メールアドレス  
 ※メールアドレスは携帯アドレスでは講演資料等が届きませんので不可です。
- ・決済方法……………クレジット決済（現在、他の決済方法は選択できません）  
 ※申込者情報、カード情報の入力が必要です。

## 申込画面のイメージと流れ



- ④入力情報を確定させると、イベントペイから入力したメールアドレスに受付完了と受講方法についてのメールが届きます。研修日当日はメールに記されている「ホームページアドレス」にアクセスするか、または「ZOOM」を使い受講する場合は「ミーティングID」と「パスワード」を入力し受講します。

## 受付確定メールのイメージ

<p>●●●●様          この度はお申しいただきありがとうございます。          下記の通りお申込と事前支払いを受付けました。</p> <p>申込番号:-----          申込人数:1人 イベント名△△研修会          場所:山口県栄養士会事務局          日時:令和×年×月×日 14:00~16:00</p> <p>～ 右欄に続く ～</p>	<p>参加費:5,000円×1人= 5,000円          決済方法:クレジット決済</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ミーティングID: ●●●●●●●●●●              ミーティングパスワード: ●●●●●●●●●●</p> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>URL:https://Zoom●●●●●●●●●●●●●●●●</p> </div>
---	---

# 活動報告

## 「コロナ禍における事業活動報告」

宇部地域事業推進委員 大原 淳子

当たり前の日常が一変してしまった今年の春、先行きの見えない不安を抱えながら、私たち宇部地域事業推進委員会の活動がスタートしました。事業予定だった会場が閉鎖されたり、イベントが縮小されたりするなど、今年度の見通しが立たず気持ちは焦るばかり。万が一何かあってはという思いから集まるタイミングを逃し、気が付くと夏を迎えていました。

そこで活躍したのがLINEアプリです。各自が情報やアイデアを出し合い、計画を進めていきました。当日までは文字と写真のみのやりとりで、実際に集合するのは開始1時間前という思い切った手段をとりました。顔を突き合わせるの会議ではないため、コミュニケーションがとりずらかったり、指導媒体の実物を見ることができないといった難点があります。しかし、逆にそれぞれの勤務時間や予定の合間を縫いながら、各自の都合に合わせて連絡を取り合えるという利点もあります。それぞれの役員がそれぞれの場でできること準備していき、現在までに無事、2つの事業を終えることができました。

そのうちの1つ、「かねこキッズまつり」において、栄養士会のブースで行った内容について紹介します。「塩分とりすぎっていませんか？」をテーマに取り組みました。塩分の1日の目標量と、年齢別の実際にとっている量を比較できるパネルなどを作成・展示しました。次に、加工食品を展示し、塩分がどれくらい入っているのかを成分表示を見ながら調べてもらいました。そして栄養士が家庭でできる減塩の工夫についてアドバイスをしました。参加者からは、「山口県民が塩分をとりすぎているとは知らなかった」「麺の汁を残さないといけな理由が分かった」「パッケージに塩分量まで書いてあるとは知らなかった」などの声が多く聞かれました。



アンケートでは、「普段、塩のとり過ぎに気をつけている」と答えた人は、参加者172人中15人でした。そして、「展示を見て塩分のとりすぎに気をつけたいと思う」と答えた人は121人という結果となりました。多くの参加者の意識を高めることができたと言えるのではないのでしょうか。

野菜色のくるみボタンを作るワークショップと併せて行うことで、多くの子育て世代を呼び込み、楽しみながら参加してもらうことができました。

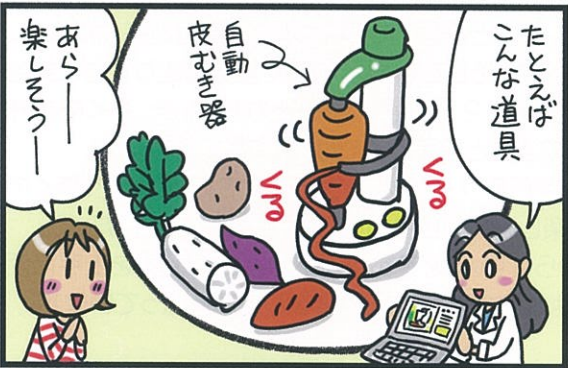
今後もどうなるか分からない状況ですが、SNSという手段を上手に活用して会員間で連携し、地域の食生活改善に貢献したいと思っています。

## 地域事業部の新たな活動紹介

地域	コロナ禍の事業
岩国地域	「高齢者のフレイル・サルコペニア予防栄養指導」リーフレット作成 「免疫力を高めるレシピ集」作成 会員へ配布、地域に情報発信するツールとして活用
周南地域	「野菜の働きや1日の必要量について」リーフレット作成 下松市民150名程度、周南市菊川小学校5.6年生150名程度配布 配布リーフレットに対するアンケート実施と結果の報告
山口地域	「食育用リーフレット（～簡単に作るバランス食～）」作成 山口市内の中学生5400名および会員へ配布 リーフレットに掲載QRコードから、調理課程や解説を閲覧可能にした。
下関地域	「低栄養予防～在宅支援者のためのリーフレット」作成 在宅介護事業所等100施設へ配布 「糖尿病予防に関するポスター」作成 下関市役所ロビーへ展示し、その後各公共施設に展示予定

## あるある漫画のコーナー

### 野菜だーハすき♡



©うえだのい 2020

## クロスワードパズル

2重線で囲まれた文字を組み合わせて言葉を完成させましょう

1		2	3		4
		6			
7					
				5	
8				9	

### 縦のカギ

- ① 栄養食事指導が上手くいかなかったら新たな対策を
- ② 太宰府天満宮のお土産として有名な餅菓子
- ③ 葉草と室内を温泉で熱した大分県鉄輪温泉の和風サウナ
- ④ 野菜や魚介を小さく切り、小麦粉の衣でまとめて揚げたもの
- ⑤ 魚の背と腹の間に存在する赤色線維筋と呼ばれる部分

### 横のカギ

- ① 細胞内液の浸透圧を調整しているミネラル
- ② 朝鮮半島で食べられている鍋料理
- ③ 食事をする時分や食事時を言い換えると
- ④ 米の重量に対して5倍の水量で炊飯した主食
- ⑤ たんぱく質の代謝過程で発生し、肝臓で尿素に変換される物質
- ⑥ 世界三大主食である米が実る植物名

答え

--	--	--	--	--

(5文字目は漢字に読み替える)

ヒント：新型コロナウイルスに負けない為にはこれが大事！

答えは次号に掲載します。

### 「あるある」ネタを募集してます(^^)

栄養士の仕事の中で、4コマ漫画になりそうな「こんなことあるよね!」とか「こんなことがあったよ」なんて話がありましたら、是非ご投稿ください。投稿に際しては、所属専門部会名、本名、あるあるネタをお書きいただき、メールでお願いいたします。なお採用された方には粗品を進呈させていただきます。面白いお話しをお待ちしています(^^)

投稿先：info@yama-ei.com

# 栄養士のお仕事

## 「誰もが笑顔で年を重ねていけるまちを目指して」

山陽小野田市健康増進課 管理栄養士 加藤 諭香江

山陽小野田市役所健康増進課(保健センター)での管理栄養士の仕事を御紹介します。病院、学校、福祉施設等の管理栄養士さんの職場と違い、給食の提供のない市町村の行政栄養士はどんな業務をしているのだろう?と思われる方もいらっしゃるかなと思います。

市の行政栄養士は、子どもから高齢者まで、健康な方から疾病のある方、要介護状態の方も含め、すべての市民、地域住民の方と関わりのある職場です。

市で行う妊婦や乳幼児健康診査、特定健康診査、がん検診などの各種健(検)診結果や地域住民の疾病状況、医療費の状況、また、市が実施する「健康」や「食育」に関する市民アンケート調査等の結果から見える各ライフステージの「健康」や「食」に関する課題解決のため、「食」を中心とした事業を行っています。

山陽小野田市では、重点的に取り組むべきと考える疾病を「がん(特に肺がん・大腸がん)」、「高血圧」、「糖尿病」、「う歯・歯周病」、「認知症」の5つとしています。

また、男性の肥満の割合が高く、国の目標を達成できておらず、食環境の変化や生活習慣の多様化等に伴い、朝食欠食は、20歳、30歳代男性とも県平均より高く、野菜摂取の割合は、男女問わず、若い世代ほど低い傾向が見られます。そのため、生活習慣病の発症予防・重症化予防や改善につながる健全な食生活の実践が必要と考えています。特に、幼少期や若い頃から、食体験を通して「食」に関する知識や技術を習得することの必要性を感じているところです。

まず、ライフステージごとの食課題解決に向けて、市民のみなさんと現状を共有します。そして、食生活改善や行動変容に向け、食に関する情報や体験の場を提供します。具体的には、市広報、ホームページ、市公式YouTube、リーフレット作成や配布による啓発活動、職場や学校等での食育出前講座、目的や対象者に合わせた食育教室の開催、栄養相談等を実施します。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理実習を伴う事業を一時中止しました。公での教室開催や調理体験を伴う事業を一時的に中止せざるを得ない状況下で、どのようにして情報発信するかといった課題。自粛生活が続く中、インスタント食品に偏る食生活、一部栄養の過不足により短期間で体重の増減が見られる方が増えるなど新たな食課題が浮き彫りとなり、これらに対応するため、随時状況をみて情報提供等を行ってきました。

一方、今こそ「家庭での食育」を実践するきっかけになればと、山陽小野田市が進める健康づくりの施策となる『スマイルエイジング「笑顔(=スマイル)の源となる心身の健康を保ちつつ、誰もが笑顔で年を重ねていく(=エイジング)」』の一環として、一般部門のレシピコンテスト、小学生・中学生・高校生の3部門の手作りお弁当コンテストを開催しました。11月は「スマイルエイジング強化月間」でもあり、この機会に第1次審査を経た4部門の入賞作品から、市内38か所に投票箱を設置し、最優秀賞、優秀賞を決定する第2次審査を市民投票で行いました。多くの市民のみなさんにご応募いただき、投票にも参加していただきました。このコンテストの開催により、若い世代が親子で「食」について考え、家庭での調理のきっかけとなり、また、入賞作品を参考にされるなど、多くの方に「食」に関心をもっていただく機会となったのではないかと思います。

現在は、感染対策を行いながらですが、スマイルキッズ(子育て総合支援センター)のキッズキッチンや各公民館調理実習室での食育教室や出前講座等も再開し、「食」を学ぶ真剣な眼差しと笑顔が各所で見られるようになりました。

さらに、食育事業を進めて行く上で大切な役割を担ってくださる地区組織や市内の幼稚園・保育園、小・中学校、高校、大学、企業、医療機関、生産者、飲食店等、「食」に関連する関係機関の皆様とのネットワークを構築していきます。関係機関との「つながり」の中で支えていただきながら山陽小野田市の「食育事業」は展開されています。

これからも、市民のみなさんが笑顔で年を重ねていけるよう願って、日々業務を進めていきます。



SOMPOヘルスサポート

### 業界トップクラスの保健指導実績!

特定保健指導を中心とした、保健指導のお仕事です。

研修あり、未経験歓迎!

資格を生かして働いてみませんか?

健康相談員募集中

お問合せは  
0120-739-505



食を咲かせます、人を咲かせます

外食産業食品流通サービス業

株式会社ハウディ

代表取締役社長  
富永 哲生



本社 〒862-0967 熊本県熊本市南区流通団地1-8  
TEL 096-377-2111(代)

鳥栖支店 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜3-26  
TEL 0942-85-0231(代)

福岡支店 〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野738-1  
TEL 092-962-3833(代)

北九州支店 〒803-0801 福岡県北九州市小倉北区西港町62-1  
TEL 093-562-3300

グループ会社 ハウディ大分食品(株)  
〒870-0319 大分市大分流通業務団地2丁目2番地の1  
TEL 097-535-7735(代)

世界中の美味しさを笑顔をつくる  
Challenge for Tomorrow



http://www.howdy.co.jp

食事のケアを気にしてる方にケアシリーズを!

食べたいときに、  
すぐおいしい。



カロリーケア  
1600コース  
カロリーを抑えたい方のために  
約530kcal以下  
※1食あたり目安、ご飯150gとおかずの合計

カロリーケア  
1200コース  
カロリーを抑えたい方のために  
約400kcal以下  
※1食あたり目安、ご飯100gとおかずの合計

塩分  
ケアコース  
塩分を抑えたい方のために  
塩分 2.0g以下  
※1食あたり、ご飯150gとおかずの合計

たんぱく  
ケアコース  
タンパク質を抑えたい方のために  
たんぱく質 約13g以下  
※1食あたり目安、ご飯150gとおかずの合計

低糖質  
セレクト  
糖質を抑えたい方のために  
1食あたり平均6.1g

やわらかい  
食事コース  
固い食事が不安な方のために  
歯ぐきでつぶせる固さ



通話料無料  
0120-8149-39  
8:30 ~ 20:30 (土日祝でも可)

<https://shokutakubin.com/>

(販売者) 東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 20 階  
ヘルシアフーズの明日を考える 日清医療食品株式会社

2020年度 栄養指導フードモデル新商品のご案内

G-9-C コンビニ・インスタント食品フードモデルCセット(22種)

パンやおにぎり、飲み物を中心としたコンビニ・インスタント食品のフードモデルです。お手軽な朝食指導としてもご活用いただけます。

※単品でもご購入できます。

KM-4 動脈硬化血管イメージモデル

進行イメージをモデルの触感で再現!

動脈硬化の進行に合わせて材料の硬さを変え、3段階にイメージしたわかりやすい教育用モデルです。見て触って進行のイメージを直感的に理解できます。

詳しくはこちら!

新商品パンフをご希望の方はフリーダイヤル、またはホームページまで!

他にも指導に役立つフードモデル多数! 詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

最新刊Vol.7 フードモデル総合カタログ・新商品チラシを無料でお送りしております! ご購求はフリーダイヤルまたはインターネットで!!

いwasakiグループ  
西日本株式会社いwasaki / 東日本株式会社岩崎(ワサキゼンアイ)  
[www.foodmodel.com](http://www.foodmodel.com)

株式会社いwasaki  
下関営業所

0120-198-953  
〒751-0833 山口県下関市武久町2-2-21  
TEL:083-252-5094 FAX:083-252-9540



●日本食品標準成分表2015年版(7訂) (科学技術庁資源調査会編)に基づいています。●日本人の食事摂取基準(2015年版)に対応。●予告なく商品内容・金額が一部変更することがあります。●掲載のフードモデルは日本製です。(商品の構成部品の一部を除く)

事務局より

研修会のお知らせ 1月23日(土) 令和2年度山口県栄養士会『2020年度栄養学術講習会』  
(詳細は案内参照) 2月20日(土) 令和2年度栄養士研究発表会